

試験研究第17-009号

平成17年6月2日

東御緑に力の植物に対する害に関する栽培試験

財団法人 日本肥糧検定協会

(本 部) 〒135-0032 東京都江東区福住 1-12-15
電話 03 (3641) 3453 Fax 03 (3641) 3750

(関西支部) 〒650-0041 兵庫県神戸市中央区新港町 14-1
電話 078 (332) 6491 Fax 078 (332) 6545

東御緑に力の植物に対する害に関する栽培試験

依頼者 東御市長 土屋哲男

1. 試験機関の名称及び所在地

財団法人 日本肥糧検定協会
東京都江東区福住一丁目 12 番 15 号

2. 試験担当者の氏名

宮原敏英

3. 試験の目的

東御緑に力の施用による、こまつなの発芽並びに発芽後の生育への支障の有無及びその程度を知るため、幼植物試験を実施する。

4. 試験設計

(1) 供試肥料及び対照肥料の種類及び名称並びに分析成績

	肥料の種類	試料の名称	分析成績 (%)			
			水分	T-N	T-P ₂ O ₅	T-K ₂ O
供試肥料		東御緑に力	99.91	0.007	0.005	0.004
対照肥料	特殊肥料	パーク堆肥	16.19	1.58	1.32	1.20

注) 対照肥料：岩手県知事に届出済みの特殊肥料

(2) 供試土壌の土性及び沖積土又は洪積土の別等

採取地	土壌の種類	土性	沖積土又は 洪積土の別	pH (H ₂ O)	交換(置換) 酸度 Y ₁	電気伝導率 (EC) μS/cm	陽イオン交換容量 (CEC) meq/乾土100g	容積重 g/mL	最大含水量 重量%/乾土
千葉県 八街市	表層腐植質 黒ボク土	SiL	洪積土	5.6	0.1	0.10	29.8	0.68	112

(3) 供試作物の種類及び品種

こまつな(ツケナ類)

(4) 試験区及び施肥の設計

試験区		施用量 (ml/ポット)	成分量 (mg/ポット)		
			N	P ₂ O ₅	K ₂ O
供試肥料	基準量区	50	3.5	2.5	2.0
	2倍量区	100	7.0	5.0	4.0
	3倍量区	150	10.5	7.5	6.0
対照肥料	基準量区	2.5 (2.99)	47	39	29
	2倍量区	5.0 (5.97)	94	62	59
	3倍量区	7.5 (8.95)	141	93	88
無機基礎量区		—	—	—	—

注) 1. 供試試料に含まれるNは、乾物換算値で2%以下で液状であるため、土壌の水分調整をする際の最大量を3倍量として施用量を設定した。

2. 上記表に記載した供試肥料及び対照肥料のすべての試験区及び両肥料の無施用区として設けた無機基礎量区に、N、P₂O₅、K₂Oとしてそれぞれ25mgに相当する量の硫酸アンモニア、過りん酸石灰及び塩化加里を施肥した。

3. 上記表の施用量欄中の()内の数値は、有姿(含水物)量を示す。

(5) 栽培方法及び管理の状況

作業項目	土壌充てん	施肥	は種	収穫
平成・年・月・日	17. 5. 6	17. 5. 6	17. 5. 6	17. 5. 27

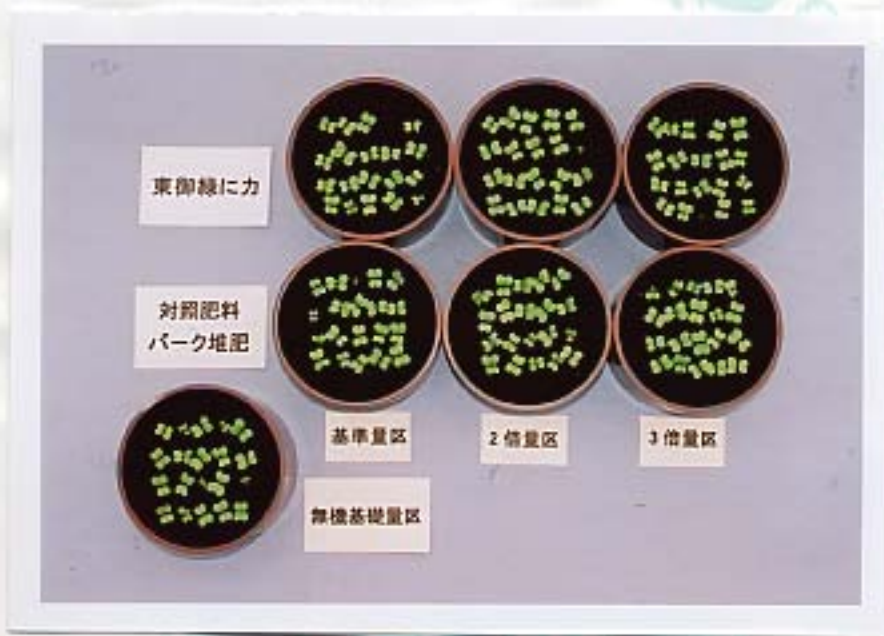
5. 試験結果

発芽及び生育調査成績

試験区		ポ ツ ト No	発芽調査成績			生育調査成績			
			5月9日	5月10日	5月11日	5月13日	5月27日		
			発芽率 (%)	発芽率 (%)	発芽率 (%)	草丈 (cm)	草丈 (cm)	生体重 (g/ポット)	生体重 指数
供 試 肥 料	基準量区	1	75	95	95	2.0	8.5	14.5	
		2	45	95	95	2.0	8.4	14.0	
		平均	60	95	95	2.0	8.5	14.3	105
	2倍量区	1	85	100	100	2.0	8.0	14.8	
		2	90	100	100	2.1	7.8	14.5	
		平均	88	100	100	2.1	7.9	14.7	108
	3倍量区	1	65	100	100	2.0	8.0	16.1	
		2	60	95	95	2.0	8.1	15.9	
		平均	63	98	98	2.0	8.1	16.0	118
対 照 肥 料	基準量区	1	90	95	95	1.9	8.2	14.1	
		2	80	95	100	2.0	8.0	13.8	
		平均	85	95	98	2.0	8.1	14.0	103
	2倍量区	1	90	100	100	2.0	7.5	14.5	
		2	90	100	100	2.0	7.4	14.7	
		平均	90	100	100	2.0	7.5	14.6	107
	3倍量区	1	85	100	100	2.0	7.6	16.9	
		2	80	95	100	2.0	7.8	15.2	
		平均	83	98	100	2.0	7.7	16.1	118
無機基準量区	1	75	95	100	1.8	8.4	13.6		
	2	70	95	95	1.7	8.3	13.5		
	平均	73	95	98	1.8	8.4	13.6	(100)	

発芽状態の写真

(5月11日撮影)



生育状態の写真

(5月27日撮影)



6. ま と め

東御市長 土屋哲男の依頼により、東御緑に力の施用による、こまつなの発芽及び発芽後の生育への支障の有無及びその程度を知るため、幼植物試験を実施して、次の結果を得た。

試験の結果：供試肥料区は、無機基礎量区に比べて発芽については、発芽開始日及び発芽率とも同等の成績を示し、また発芽後の生育においても、同等の成績を示した。

なお、有害物によると考えられる植物の生育上の異常症状は認められなかった。

以上は、依頼により本協会が試験を行った結果であることを証明します。

平成17年 6月 2日

財団法人 日本肥糧検定協会



平成17年6月2日

証 明 書

財団法人日本肥糧検定協会

本部 扱

下記成績は、依頼者から提出された試料について行った分析・試験結果であることを証明します。

依頼者名 東御市長 土屋 哲 男

試料名 東御緑に力
(依頼者指定の名称)

記

分析・試験結果

水分	99.91	%
窒素全量 (N)	0.007	%
りん酸全量 (P ₂ O ₅)	0.005	%
加里全量 (K ₂ O)	0.004	%
石灰全量 (CaO)	0.0004	%
炭素率	1.9	
(有機炭素 (C))	0.013	(%)
銅 (Cu)	0.3	mg/kg
亜鉛 (Zn)	0.9	mg/kg

分析・試験担当者 官原 敏 英

(本 部)

〒135-0032 東京都江東区福住 1-12-15
Tel 03(3641)3453 Fax 03(3641)3750

(関西支部)

〒650-0041 兵庫県神戸市中央区新港町 14-1
Tel 078(332)6491 Fax 078(332)6545